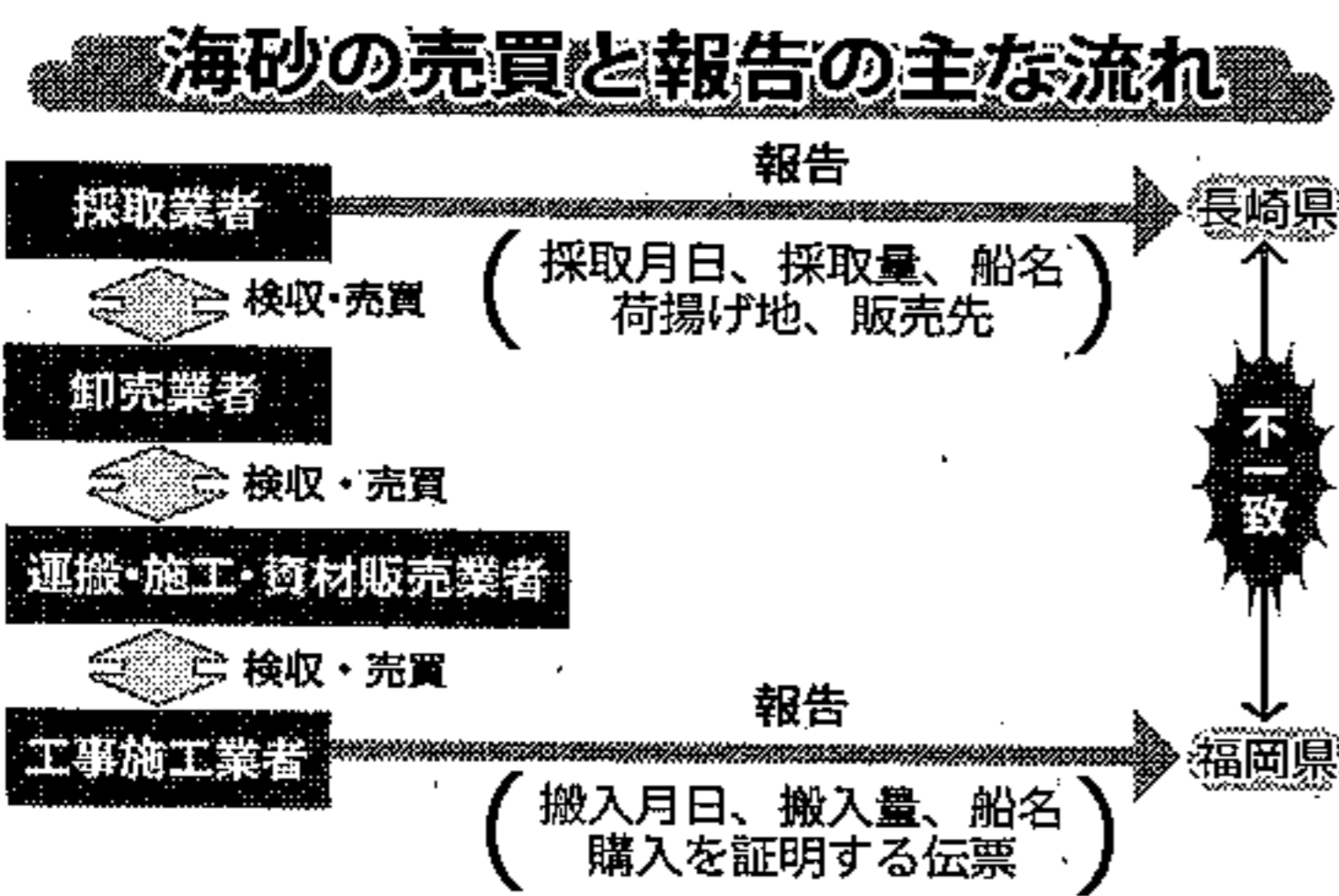


昨年度福岡県の覆砂工事

有明海の漁場環境改善のため昨年度に福岡県が発注した海底を砂で覆う「覆砂(ふくさ)」工事で、長崎県沖で採取された海砂の量に比べ、福岡県に搬入された量が大きく増えていることが23日、業者が両県に提出した報告書で分かった。採取量の過少報告か搬入量の水増し報告の可能性が浮上。各業者や両県はそれぞれ正当性を主張するが、長崎県はあらためて調査する考えを示している。



海砂採取と搬入量に差



3000立方メートル以上の違いも

5月・上五島沖

海砂 主にコンクリートの原料として西日本を中心に採取されている。全国の採取量の9割以上が九州、山口、沖縄に集中。経済産業省によると、2009年度の採取量は全国で994万立方メートル。本県は252万立方メートルの全国2位。8業者が吉崎市、平戸市、西海市、新上五島町、長崎市沖で採取している。瀬戸内海では過剰採取

ズーム

による環境悪化を受け沿岸自治体が順次採取を禁止した。覆砂工事 福岡県の事業計画書によると、泥が堆積した海底を海砂で覆い、貝類などの増殖や底質改善を図る。1987年から始まり、2001年以降は干潟域で毎年100メートル前後の規模で実施している。設計数量は約50万立方メートル。昨年度の予算は約20億円。

本県産 過少か水増し可能性

海砂は国有財産で沿岸県名を公表しなかった。長崎の許可を受けた業者が採掘。県内では上五島や平戸、吉岐などの沖合で採掘している。採取業者は長崎県に採掘日と量、船名、荷揚げ地、販売先を報告。施工業者は福岡県に搬入日と量、船名を報告している。

長崎新聞社は両県に情報公開請求して入手した報告書と比較した。福岡県は船名を公表しなかった。長崎県の報告書では昨年5月29日、平戸市沖で1470立方メートルの設計数量に満たない可能性が生じる。逆に福岡県への報告が正しければ、搬入量が水増しされたとおり工事の設計数量に満たない可能性が生じる。逆に福岡県への報告が正しければ、長崎県の認可量を超過採取した業者も出ることになる。

本県の採取業者は「過少報告はありえない。(福岡県への報告量が)10〜15%量通り入っている」としている。(田中祐作)

長崎新聞社は両県に情報公開請求して入手した報告書と比較した。福岡県は船名を公表しなかった。長崎県の報告書では昨年5月29日、平戸市沖で1470立方メートルの設計数量に満たない可能性が生じる。逆に福岡県への報告が正しければ、搬入量が水増しされたとおり工事の設計数量に満たない可能性が生じる。逆に福岡県への報告が正しければ、長崎県の認可量を超過採取した業者も出ることになる。

本県の採取業者は「過少報告はありえない。(福岡県への報告量が)10〜15%量通り入っている」としている。(田中祐作)

玄海原発1号機主力容器

子炉の製造技術は未熟。鋼材、殺人事件として捜査を...

新華社電によ
江省で23日午
本時間同9時
省杭州から温
いた高速鉄道
起こし、車両
転落した。自